



やの周子

市政報告夏号



周子、改選後初の定例議会の質問に立つ！ 市民の皆さんに寄り添って！



倉敷市議会6月定例会が6月7日から6月25日まで開会され、周子は6月議会に登壇し、改選後、初の議会質問に立ちました。

(1) 新型コロナウイルス感染症に関して

- 1、ワクチン接種のスケジュールについて
 - ①年代別の状況について
 - ②生活弱者の方のスケジュールについて
 - ③市長をはじめ職員の接種時期について
- 2、集団接種会場の拡充について
(大学、商業施設、地域公共施設)

- 3、ワクチンの今後の供給見込みについて
- 4、自宅療養者のサポートについて

(2) 人にやさしいまちづくりについて

- 1、手話言語条例について
- 2、聴覚障がい者に対するの対応について
(スカーフ配布を)

(3) 学校園のトイレについて

- 1、学校園トイレ洋式化の進捗状況について
 - 2、コロナ対策について
- 以上、3項目について質問しました。

今回は、一番問題になっている新型コロナウイルスに関する質問をする前に、まずは、お世話になりました医師、医療従事者、市役所、保健所関係の皆さま、関係者の皆さまに深く感謝申し上げます、質問させていただきました。

11月末までに、12歳から64歳までの方は、接種完了するとの見通しを示され、基礎疾患がある方や障がいのある方々と順次接種出来るように準備を進めていくとの答弁でした。

手話言語条例の制定についての質問は、岡山県下であると2市となっている状況を再度質問し、今年出来るだけ早い制定に向け取り組んでいくとの答弁でした。

聴覚障がい者の皆さんから要望があがっているスカーフについては、不織布のビブス対応しているとの答弁でしたので、スカーフでの対応を強く要望しました。

最後の項目で、トイレの洋式化の進捗状況とコロナ対策について質問しました。

令和7年度で60%、令和12年度で80%の目標達成に向けて進めているとの答弁でした。コロナ禍にあっては蓋つきトイレの必要があるので、順次付けていくとの答弁でした。

最後はいつものトイレの質問で終わらせていただきました。

6期目も、市民目線で皆さんのお声を反映しながら、進めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

真備町が被災を受けて3年が経ちます。7月6日には平成30年7月豪雨災害追悼式が、マービーふれあいセンターで行われ、真備町の早期復旧復興を、参列者の皆さんでお祈りしました。



コロナ対策に関してのご意見をお聞かせ下さい。